

モノレール沿線で 工事をされる方へ

近接工事協議のご案内

STOP

列車事故



沖縄都市モノレール株式会社



事故防止のご協力をお願い致します

PICKUP

モノレール沿線での工事の危険性(事故の事例)

モノレール軌道、駅舎などの構造物に近接して行う工事を近接工事といいます。近接工事では、ちょっとした「ミス」や「不注意」によって多大な列車事故を招く恐れがあります。その為、工事、作業等を行う場合は、事故防止を図る目的で事前に当社と協議をさせていただいております。ご理解とご協力をお願いします。

※ 事故を起こした場合、事業者または責任者が刑罰(往来を妨害する罪など)や行政処分を科される場合があります。

工事の区域紹介

モノレール沿線には工事規制があります。特に重機を使用する工事においては、事前の協議が必要となります。工事事例：クレーンやポンプ車を使用しての建築工事、バックホウによる掘削作業、高所作業車を使用する電柱工事、ユニック車運搬による草刈り業務など

営業時間外の工事区域

区域図の中央側(桃色)の範囲で行う工事。モノレールの安全運行への影響が大きく、営業終了後の工事となります。詳細な協議が必要となり、早目の連絡をお願いします。

営業時間内の工事区域

区域図の外側(黄色)の範囲で行う工事。また、この区域より外側になるが重機を使用する工事。モノレールの安全運行への影響が小さいと思われるが、安全対策などの協議が必要となります。(※但し、使用する重機の可動範囲も区域内とする。)

その他の区域

区域図の下側(水色)の範囲で行う工事も協議が必要になる場合があります。特に重機を使用する工事。

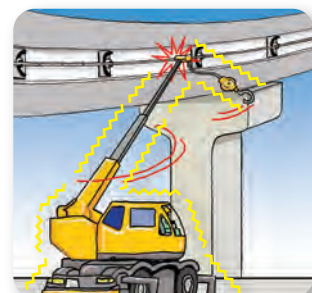


列車・線路との接触!!

列車、線路(桁)と重機の接触(クレーン、バックホウ、建柱車、高所作業車など)



モノレールが運行出来なくなり、多大な影響を及ぼし重大な事故になります。

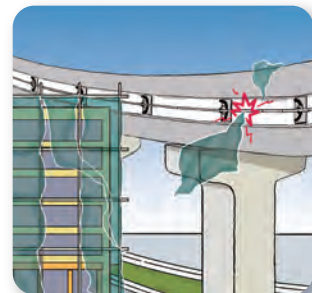


電車線接触による感電!!

電車線と重機の接触による感電(クレーン、バックホウ、建柱車、高所作業車など)



電車線には1500Vの電気が流れており、感電すると非常に危険です。



工事用具の飛散

工事用具の飛散(ビニールシート、養生シートなど)



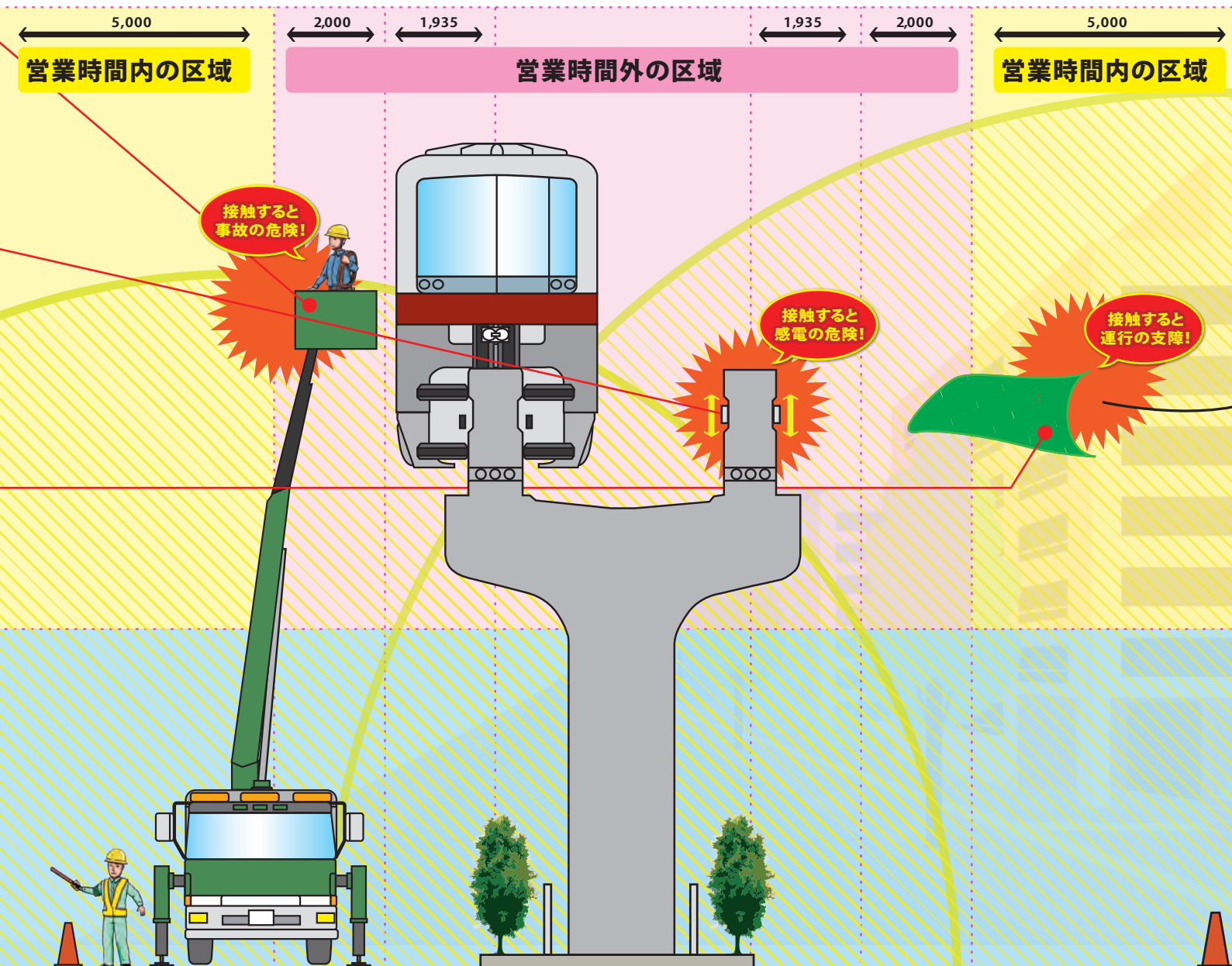
モノレール沿線の工事にて、台風・強風対策をしっかりと行っていないと、用具等がモノレールの施設に飛散し、運行ができなくなります。

それ以外にも…



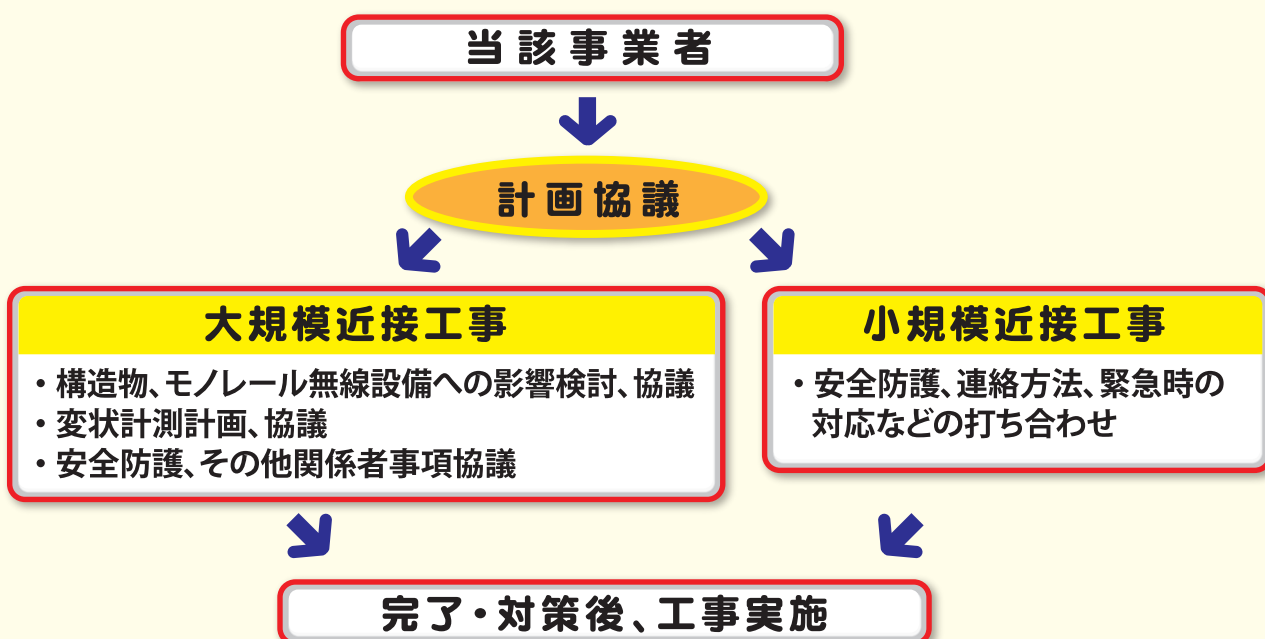
地上から大丈夫と思っても、運転席(上空)からは近く感じ急ブレーキをかけることがあります。この時、車内にいるお客様が転倒した場合人身事故になります。また、列車が止まるとダイヤが乱れ、運行に多大な影響が出ます。

近接工事の規制区域



協議の流れ（事前に、正確に、安全に）

- 近接工事に関する注意事項、連絡体制などについて協議を行います。
- 現場責任者が協議を行うようにして下さい。
- 用意して頂く資料
 1. 工事内容がわかる資料（施工計画書など）
 2. 図面（モノレール設備との離隔がわかる図、現場の平面図・断面図）
 3. 使用する重機のカatalog（性能表など）



※大規模近接工事 … 大規模構造物建設、高層ビル建設、路盤開削、地下構造物埋設などの工事。モノレール構造物（支柱、駅舎等）や無線設備への影響が考慮される。

※小規模近接工事 … 大規模近接工事ではないが、クレーン、高所作業車などの重機を使用する工事。モノレールの安全運行への影響が考慮される。



沖縄都市モノレール株式会社 業務部 施設課

TEL . 098 - 859 - 2738 (第一優先)

TEL . 098 - 859 - 2977

● 携帯番号（不在時対応） TEL . 090 - 7585 - 1001